



<https://www.johas.go.jp/>



JOHAS「事務職員募集」ページはこちら

お問い合わせ先

JOHAS【ジョハス】

独立行政法人 労働者健康安全機構

総務部 人事課 採用担当

〒211-0021 神奈川県川崎市中原区木月住吉町1番1号

TEL: 044-431-8611

E-mail : saiyo@m.johas.go.jp

就職活動中のハラスメント等の相談はこちら



労災病院グループ

事務職員 採用案内

JOHAS

RECRUIT Book 2026

独立行政法人
JOHAS
労働者健康安全機構
Japan Organization of Occupational Health and Safety

皆さんの力で 日本経済を支えましょう！ ～JOHAS プライドへの誘い～

理事長 挨拶

労働者健康安全機構（JOHAS:ジョハス）は、厚生労働省所管の独立行政法人である公的機関です。JOHASは働く方々（勤労者）の仕事を配慮しながら、その病気の予防や治療をすることで、我が国の経済の担い手である勤労者を支え、日本の経済の安定と発展に貢献していると自負しています。これがJOHAS プライド！です。

JOHASは患者さんの治療をする多くの労災病院ならびに勤労者や会社の様々な困りごとへのアドバイスなどをする産業保健総合支援センターを広く全国に設置・運営しています。また、勤労者が職業に起因する病気にならないための予防法や、万一職業に起因する病気に罹患した場合の診断・治療法等の研究を東京都及び神奈川県に合計3か所の研究拠点を有する労働安全衛生総合研究所で行なっています。これらの施設では、医師などの医療職や研究者がその専門的技能をもってして勤労者の健康保持に尽力しています。しかし、これらの施設を円滑に運営するためには、各施設の特性を十分理解してその機能をいかんなく發揮させるための多彩な事務業務を担う、優秀な事務担当職員の存在は欠かせません。

JOHASが国から付託されている使命は、上記のように医療・医学を以て我が国の経済の礎である勤労者を支えるための様々な事業を展開していくことがあります。医療・医学は事務職、医療職、研究職などの多職種で構成するチームとして一体となって遂行するものであり、特に事務職はJOHASの各種事業を実施しているチームの中核を担う役割を果たしています。

是非、私たちのチームの仲間になってJOHAS プライドを共有して日本の経済を支えていきましょう。

独立行政法人 労働者健康安全機構

理事長 大西洋英



「労働者健康安全機構とは」

独立行政法人労働者健康安全機構（JOHAS）は「独立行政法人労働者健康安全機構法（平成14年12月13日法律第171号）」に基づいて設立された、厚生労働省所管の独立行政法人です。当機構は、勤労者医療の推進、労働安全衛生分野の調査・研究、産業保健活動の支援、未払賃金の立替払事業など様々な事業を通じて、労働者の健康と安全の確保、福祉の増進に寄与しています。



機構本部



「病院における事務職の役割」

「時代のニーズに合わせて組織の舵取りをする」
日進月歩で変化していく医療や国の施策に対し、当機構は、継続して勤労者や地域に医療を提供していくしかなければなりません。事務職は、社会情勢や政策に関する知識や理解を深め、ニーズの変化に各施設の機能を対応させる。他の職種の業務へ理解や関心を寄せ、職員が効果的に動けるように調整する。様々な経営等に関するデータを収集・分析し、限られた資源を活かすといった役割を担い、経営のマインドを持って、様々な業務を進めています。



総務

「病院で働く職員を支える」

人事・給与・福利厚生・広報・各業務の調整・文書管理・施設管理

会計

「病院の財産を管理」

予算・決算・契約・資産管理・出納・物品検収

医事

「病院の収益増に貢献」

患者対応（受付、事務手続、相談）・診療報酬の算定、請求
診療記録の管理

経営企画

「病院経営をマネジメント」

経営戦略の企画立案・経営改善計画の実施及び指導
医療事情の収集、分析、提供

III コース別キャリアパス



総合職候補コース

採用試験（本部実施）合格

A病院に配属（3～4年間）

計7年間

B病院に配属（3～4年間）

総合職選抜試験 合格

本部に転任（4年間）

主査・係長昇任試験 合格

主査（2年間）

管理職昇任試験 合格

管理職

施設課長
本部班長
施設事務局次長
本部課長
施設事務局長
本部調査役・次長
本部部長

施設採用コース

採用試験（施設実施）合格

A病院に配属（原則転勤なし）

主査・係長昇任試験 合格

係長

管理職昇任試験 合格

管理職

施設課長（原則A病院で登用）

※施設採用コースから
総合職候補コースへの
転換も可能です。

キャリアモデル



※地域手当10%の場合。

※賞与含む。支給月数は経営状況により変動することがあります。

※地域手当以外のその他諸手当（時間外勤務手当、通勤手当、住居手当）は含みます。

III 研修制度 キャリアアップを支えます



入職前

内定式

内定証書授与、施設見学、先輩職員や内定者同士の交流会等を行います。入職に向けて当機構への理解を深めていただくとともに、働くイメージを掴んでいただきます。



内定式

入職

新人研修

機構職員としての心構えを学ぶとともに、病院における事務職の役割を学びます。また、基礎的なビジネススキルやメンタルヘルスなどを習得します。



グループワークの様子

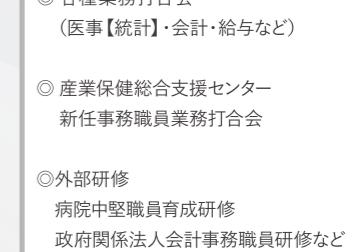
1年目

医療事務講座

3年目

3年目研修

採用後3年を経過した職員として同期とともにより自律的・能動的に職務を遂行できるよう意識を高め、病院経営に関する基礎的な知識を学びます。



3年目研修

6年目

中堅研修

中堅事務職員として同期とともに役割を認識し、職務遂行能力の向上を図り、経営参画意識を高めます。



以降

次世代リーダー研修

係長研修

管理職研修

OJT

その他

◎各種業務打合会
(医事【統計】・会計・給与など)

◎産業保健総合支援センター
新任事務職員業務打合会

◎外部研修
病院中堅職員育成研修
政府関係法人会計事務職員研修など



青森労災病院

会計課
用度係 R・S

宮城県／学芸学部
令和6年入職 エリア総合職

◎仕事内容とやりがい

主な仕事は、現場から修理依頼をされた物品や医療器具等の修理対応です。もちろん、自分で修理できないものも多くあるため、その場合は物品に対応した業者に連絡して修理を依頼します。

その他には、薬品の検品や請求書の処理、書類作成等を行っています。患者さんと直接的なやり取りはありませんが、看護師や医療職などの他部署との連携が多くあり、非常にやりがいを感じています。

◎JOHASへの入職理由

私は会社単体に貢献するのではなく、直接的に社会に貢献したいという想いがあったことから、それが叶えられる法人に就職したいと考えていました。そのため、独立行政法人かつ病院という特徴を持っていた当機構へ入職を決めました。

また、福利厚生や休日数を重視していたため、採用月からの有給休暇のほかに夏季休暇等の取得ができることや、家賃補助、通勤手当等の支給制度が整っていることに魅力を感じ、当機構を選びました。

◎求職者の皆さんへメッセージ

私が就職活動を本格的に始めたのは大学4年の4月後半で、具体的な将来を思い描けず様々な企業にエントリーシートを送っていました。当初は書類選考が通らず落ち込むこともありましたが、徐々に書類選考やその後の面接も通過するようになり自信が持てるようになりました。

強く志望する企業がない方や企業選びに悩んでいる方は、様々な企業にアプローチするのも一つの手ではないかと思います。私自身、たとえ選考途中で残念な結果となってしまっても、次の選考につながる糧になると考えることで必要以上に落ち込みますポジティブに考えることができます。

●1日のスケジュール

時 間	仕事内容等
8:15	始業、メールの確認
8:40	薬品の検品、納品書整理
10:00	電話対応、資料作成
12:15	昼食
13:00	業者対応、資料作成、請求書処理
16:00	委員会準備・出席
17:00	終業

物品修理などを行い病院に貢献しています！



千葉労災病院

経営企画課
経営企画係 K・G

東京都／人間学部
令和元年入職 一般職

広報のDX化で魅力的な病院づくりを！

◎仕事内容とやりがい

現在、主に広報に関する業務を担当しております。具体的には、患者さんや近隣の医療機関向けの広報誌の作成、院内ポスターの制作、ホームページのデザイン管理などが主な業務です。また、院内のDX化が進む中で、デジタルサイネージ用の動くポスターを作成する機会も増えてきました。自分が制作したポスターを患者さんが目にしている様子を見かけると、大きなりがいを感じます。

さらに、経営企画課の一員として、他職種の方々と連携し、病院の利益向上に向けた検討を行う機会も多くあります。この業務を通じて、常に新しい知識を学び続けられる点が非常に興味深く、仕事の面白さを実感しています。

◎これまでに印象深かった仕事

印象深い仕事の一つは、薬剤師さんと一緒に薬剤師紹介動画を作成したことです。募集活動を目的に、薬剤師さんが業務風景を撮影し、それを私が編集ソフトで一つの動画にまとめました。初めての挑戦で手探りの状態でしたが、何度も話し合いを重ねて完成させたときの達成感は大きいものでした。これをきっかけに、看護師の紹介動画も作成するなど、新しい広報活動を始められたこともやりがいにつながっています。

◎求職者の皆さんへメッセージ

● 1日のスケジュール

時 間	仕事内容等
8:30	始業、スケジュール確認、メールの確認
9:00	広報誌の作成
11:00	ポスター作成
12:15	昼食
13:00	施設基準の確認業務
15:00	打合せ
16:00	委員会出席
17:15	終業



福島労災病院

医事課
医事係 H・K

青森県／政治経済学部
令和3年入職 総合職

◎仕事内容とやりがい

診療データを集計し、資料作成や経営分析を行っています。多職種の日常業務の成果が私が作成した資料を通じてフィードバックされると同時に、病院経営の指標となるため、非常に重要な役割です。また、增收のための仕組みづくりにも注力しており、副院長や看護師長など管理職の職員と議論して良い方策を発案できた時には、非常にやりがいを感じます。業務を進める上で、「はやい=迅速な事務処理、うまい=正確かつ明瞭な資料作成、やすい=わかりやすい説明」が求められるため、日々精進しています。

◎これまでに印象深かった仕事

医療安全に関する学会の運営事務局を務めたことです。参加者が約200名の学会で、発表者や協賛企業との調整、学会誌の作成、当日の会場運営など全般について、統括を行いました。準備期間が半年近くとなる大仕事でしたが無事に終了することができ、院内や院外の関係者から感謝の言葉を貰えた時は、非常に嬉しかったです。私の場合、学生時代にも類似した経験をしてきたので、自分の経験を活かすことができ自信を持てたという意味でも、印象深い仕事となりました。

◎求職者の皆さんへメッセージ

● 1日のスケジュール

時 間	仕事内容等
8:15	始業 患者数の集計
9:00	会議資料の作成
11:00	依頼されたデータの作成
12:15	昼食
13:00	課内ミーティング
14:00	本部報告資料の作成
16:00	他職種との打ち合わせ
17:00	終業

「はやい、うまい、やすい」をモットーに！

※VUCA（ブーカ）とは「Volatility:変動性」「Uncertainty:不確実性」「Complexity:複雑性」「Ambiguity:曖昧性」の頭文字から成る造語で、社会情勢やビジネス環境が変化して複雑性が増大する中で、将来の予測が困難な状況を意味します



愛媛労災病院

総務課
給与係 Y・S

愛媛県／国際文化学部
令和4年入職 施設限定採用

適切な労務管理で働く職員をサポートする！

◎仕事内容とやりがい

仕事内容は、給与計算や勤怠管理、社会保険の手続きなどです。直接的な利益や成果が見えづらい間接部門ですが、院内の様々な部署や多職種の職員と直接コミュニケーションをとめて業務を行うため、現場で働く医療従事者を支えているという実感を得ることができ、モチベーションにつながっています。また、不安な様子で相談にきた職員が安心して帰っていく姿を見ると、人の役に立てていると実感することができ、やりがいを感じます。

◎JOHASへの入職理由

前職では総務部門において主に労務管理を担当していました。当時は業務ごとに細かく分担されており、体系的に幅広い経験を積むことが困難でした。その点当院では、病院を支える事務局として総務課、会計課、医事課があり、部署間での異動を希望すれば横断的に実務経験を得られるため、自己の成長につながると確信し、志望しました。

● 1日のスケジュール

時 間	仕事内容等
8:15	始業、課内朝礼、メールの確認
9:00	勤怠管理業務
11:00	各種届出書類作成
12:15	昼食
13:00	給与計算業務
16:00	職員からの問い合わせ対応
17:00	委員会準備、出席

◎求職者の皆さんへメッセージ

新しいことや未経験のことへの挑戦は、とても不安で勇気がいることだと思います。ただ自分が経験したことは全て自分の武器になり、何かを成し遂げると大きな自信になり、自己の成長に繋がります。思うようにいかないこともあります。自分を信じて仲間と支え合いながら乗り越えてください。みなさんとお会いできる日を心待ちにしております。

旭労災病院 医事課
医事係長 R・I 愛知県／経済学部
平成25年入職 一般職

事務職こそが病院経営改善のキーマンになれる！

◎仕事内容とやりがい

病院の経営分析をしています。いろいろなデータから病院の収入増には何が必要かを見つけ出し、改善策を考えます。当院は新規に入院していく患者さんの数である「新入院患者数」と、入院患者さんの平均的な入院日数である「平均在院日数」に課題があったことから、具体的な数字を目標として出し、達成に向けて多職種で議論し、できることを見つけ出し、行動しました。少しずつですがデータがよくなってきており、事務職が出すデータが基礎となって多職種が行動し、結果に繋がっていくことはとてもやりがいになっています。

◎成長を感じた仕事

新型コロナに対応したことです。発生初期は手探り状態で医師や看護師と話し合いながら患者さんが来院したときの対応方法を検討しました。その後、いわゆる「コロナ特例」といって病院運営に対してコロナに関する特別なルールができる際はルールが更新されるたびに読み込んで、漏れなく対応できるようにしました。コロナによって初めてのことばかり起きましたが、その都度、みんなで協力して乗り越えることで「変化に対応できる力」がつき、成長できたと感じています。

◎求職者の皆さんへメッセージ

就職活動では、自分のやりたいことが明確になるように自己分析をしてみてください。今まで自分が嬉しいと感じた場面を思い出してみるといいかもしれません。私は、自分の行動が誰かのためになったときに嬉しいと感じることが多かったので、当機構をはじめとした公的機関やインフラ業界など、社会を支えていることを直接感じられそうな企業・仕事を志望しました。就職活動はこれまでの自分とこれからの自分を見つめるいい機会です。頑張ってください。

略歴

略歴	
H25年	入職 旭労災病院 医事課入院係
H26年	旭労災病院 医事課医事係統計調査員
H28年	旭労災病院 医事課医事係
R6年	旭労災病院 医事課医事係長

本部 経営企画部経営企画課
経営管理班長 K・H 長崎県／人文学部
平成10年入職

少しでも病院を良くしていきたい！

◎これまでに印象深かった仕事

入職して今まで病院の会計課、医事課、総務課の業務に携わってきましたが、総務課在籍時にコロナ対応したことが印象深く思い出されます。病院としてのコロナ患者の対応、コロナ病棟の設置、ワクチン接種の進め方、保健所・近隣病院・医師会との情報交換等、初めて経験する事柄に毎日に追われていました。その中で、医師を始め看護部、薬剤部等の医療職スタッフと協力して対応できたことが大変貴重で有益な経験となりました。

◎管理職のやりがいや面白さ

病院を少しでも良くしていきたい、という目的に向かって職員一同進んでいく中で、場合によっては他部署との意見の相違もあり、すぐに解決しない時もあります。ただ、管理職という立場だからこそ他職種や外部の方々と話す機会を多く持つことができ、その結果、何とか解決の糸口を見つけ、それが実を結んだ時には大きな達成感を味わうことができます。病院運営に直接関わっているという実感を持つことができるところに面白さを感じます。

◎求職者の皆さんへメッセージ

略歴

略歴	
H10年	入職 横浜労災病院会計課
H13年	東京労災病院 医事課
H17年	本部総務部付 労働者健康安全機構健康保険組合出向
H20年	本部 賃金援護部援護・債権管理課
H21年	本部 賃金援護部審査課
H24年	本部 医療事業部事業計画課主査
H27年	東北労災病院 会計課長
H29年	東京労災病院 総務課長
H31年	釧路労災病院 総務課長
R4年	本部 経営企画部経営企画課経営企画班長
R6年	本部 経営企画部経営企画課経営管理班長

関東労災病院 総務課
総務課長 W・T 埼玉県／経済学部
平成21年入職 総合職

事務職として病院運営に携わり政策医療・地域医療に貢献

◎管理職のやりがいや面白さ

管理職のやりがいとしては、自由があることだと思います。一般職員の時代は上司からの指示に従い実践するということが多かったですが、管理職になると日常出てくる課題に対してどのように解決するかを考えなければなりません。また、自部署のみで解決ができない問題がほとんどのため、他部署と調整を行う必要も出てきます。自由には当然責任も伴いますが、その課題を上手く解決できた時に管理職の面白さを感じています。

◎こんな方に入職してほしい

当機構は労災病院の運営、産業保健の推進、未払い賃金の立替払い等、様々な業務を行っておりますが、の中でも労災病院の運営が大きな割合となっておりますので、病院事務にご興味がある方に入職を検討いただければと思います。また、どの会社でもそうだと思うのですが、失敗を恐れず指示待ちになるのではなく、自ら考え行動でき、円滑にコミュニケーションできる向上心を持った方に入職していただきたいです。

◎求職者の皆さんへメッセージ

略歴

略歴	
H21年	入職 本部 医療事業部業務課
H22年	中部労災病院 医事課
H25年	関東労災病院 会計課
H27年	本部 経理部予算課
H30年	本部 職員部職員課
R2年	本部 総務部総務課主査
R4年	関東労災病院 会計課長
R5年	関東労災病院 総務課長

中部労災病院 事務局長 K・A 三重県／文学部
平成10年入職 事務職幹部試験合格者

地域に求められる病院をつくる！

◎入職からこれまでの業務歴について

私は現在、病院の事務局長として病院全体の運営や経営を考える立場ですが、入職当時は総務課に配属され、その後、医事課や会計課など病院の事務職として一通りの経験をしました。特に会計課で病院の経営に関する資料作成をした際に、あまり経営を直に考えることがなかった私にとって、病院経営の奥深さと難しさを実感できました。その後、管理職となり課長・次長と経験をしましたが、これまでの経験は、今でもこの医療という業界に興味が尽きず、もっと知りたいというモチベーションになっています。

◎管理職のやりがいや面白さ

管理職としてやりがいを感じる時は、個々の成長を感じられた瞬間です。チームが成長するには、どうしても個々の力を上げることが必要な時があります。あまり積極的ではなかった人が、アドバイスなどをした後に資料を作り、素晴らしい提案をしてくれた時などは涙が出るほど嬉しいものです。また、日々の業務を通じて、医療の質向上に貢献ができるという実感が持てるのも大きな魅力です。

◎こんな方に入職してほしい

まず、自身のキャリアを考え、意識できる人材をめざします。自分はどうなりたいのか、どうありたいのか、そのためには何をすべきなのかという考えをしっかりと持っている方が理想です。また、チームとして、互いに支え合いながら成長していくことを大切にしていますので、コミュニケーション能力が高く、積極的なアイデアを提案でき、チームワークを重視できる方と一緒に仕事をしていきたいと考えています。

略歴

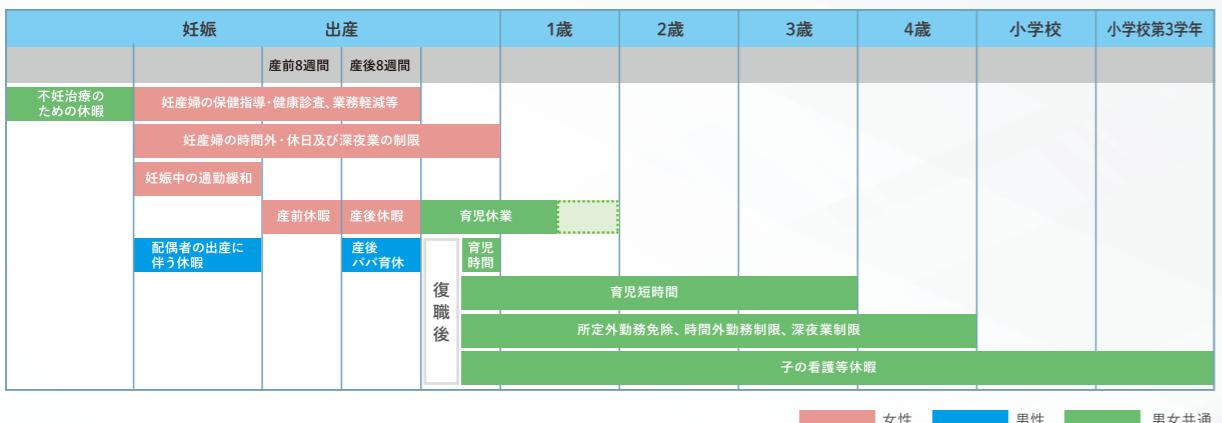
略歴	
H10年	入職 中部労災病院 総務課
H12年	中部労災病院 医事課
H13年	関西労災病院 会計課
H16年	本部総務部付 産業医学振興財団出向
H18年	本部 経理部契約課
H21年	本部 経理部出納課主査
H23年	旭労災病院 会計課長
H25年	福島労災病院 総務課長
H27年	本部 経理部出納課決算班長
H29年	本部 医療企画部医療企画課医療企画班長
H31年	横浜労災病院 事務局次長
R4年	本部 医療企画部医療企画課長
R6年	中部労災病院 事務局長

働きやすい職場環境 ～ワークライフバランスを支援します～

当機構では、職員が仕事を両立しながら安心して働き続けることができるよう、出産・子育て及び介護に関する様々な制度を設けています。

育児等に関する各種制度

不妊治療のための休暇	不妊治療の通院等のための休暇（年5日以内。特定の治療をする場合は年10日以内）
産前休暇・産後休暇	出産の8週間前から、産後8週間までの休暇
産後パパ育休	子どもの出生後8週間以内に4週間までの休業（分割して2回取得可能）
育児休業	子どもを養育するための一定期間の休業（原則、1歳の年度末まで。保育所へ入所できない等、必要な場合は2歳に達する日まで延長可能。分割して2回取得可能）
育児時間	1歳未満まで子どもを養育する職員が育児のために取得できる時間（1日につき1時間以内）
育児短時間	子どもを養育するための勤務時間の短縮（子が4歳になるまで）
子の看護等休暇	病気につかかった子どもの世話や子どもの学校行事への参加などのための休暇（子が小学校第3学年修了まで。年5日間）



介護に関する制度

要介護状態にある対象家族を介護するため、以下のような制度があります。

- ・介護休業（対象家族1人につき、通算365日）
- ・所定外勤務の免除
- ・介護短時間（1日につき2時間）
- ・時間外勤務の制限
- ・介護休暇（年5日間）
- ・深夜業の制限

先輩の声



中国労災病院 M・Sさん

◎育児と仕事の両立について

私は今まで2回の産休・育休を経て復帰し勤務しています。育休中に「保育園に行き始めたら色々な病気をもらってくるよ」とよく言われていたので覚悟はしていたものの、復帰後毎月のように熱を出しては休む日が続いていました。機構では制度として「子の看護休暇」というものがあり、年次有給休暇とは別に休みを取ることができます。そのおかげで、保育園からの急な発熱での呼び出しや看病が続く時にも対応することができます。

また現在は「育児短時間」の制度を利用し、勤務時間を短縮して働いています。仕事と育児を両立するとなると、時間に追われてしまい余裕がなくなる事もあります。しかし、この制度を利用することで保育園の送迎はもちろん帰宅後子ども達と一緒に過ごす時間が作れるので、精神的にも体力的にも助かっていると感じます。

復帰前は仕に戻ることへの漠然とした不安がありました。初めは慣らし保育で午後から休むこともあったので、同僚からたくさんのフォローをしてもらいましたし、そんな中でも「早くお迎えに行っておいで」と声をかけてくれたことを本当に感謝しています。今では仕事中は良い意味で子どものことを忘れ、また勤務後に保育園へ迎えに行き嬉しそうに駆けてくる子どもの姿を見ると仕事の疲れを忘れることができるので、調和のとれた日々を送っています。

Q&A よくある質問

- | | |
|------------------------------|---|
| Q 医療の知識は必要ですか？ | A 医療現場で働く事務職員としての専門的な知識については、研修制度もあり、採用された後での習得が可能です。新聞を読み、医療関係の動向に気を配っておくと理解しやすくなります。 |
| Q どんな資格・スキルが役に立ちますか？ | A 医療事務の資格は無料で入職後に研修、受験できます。役に立つスキルはパソコン操作関係があげられます。操作に慣れておくとスムーズに業務に入ることができます。 |
| Q 宿舎はありますか？ | A 各施設に職員宿舎があります。利用状況により入居できない場合もありますが、その場合は規定に基づき住居手当が支給されます。 |
| Q 労災病院と一般病院の違いは何ですか？ | A 診療を行う上での違いはありません。労災病院は職業性疾患の診療や研究、治療と仕事の両立支援を行うなど、診療以外に政策医療を行っている点が一般病院との大きな違いです。 |
| Q 部署異動について希望は反映されますか？ | A 毎年、本人の希望を確認しています。本人の希望に加え、適性やキャリアアップなどの事情も総合的に勘案して部署異動が行われます。 |
| Q 職場はどんな雰囲気ですか？ | A 病院は多くの患者さんが来院されるため、厳しい場面もありますが、病院運営はチームワークが重要になるため、職員同士の連携が取れたコミュニケーションの良い職場です。事務職以外の各部門、各職種と関わることも多く、幅広い人間関係を築くことができます！ |

労災病院

労災病院では、勤労者医療の理念のもとで、医師をはじめ、看護師、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士など、各専門分野の最新の知識と経験を結集し、次の取り組みを行っています。

《高度・専門的医療の提供》

一般診療を基盤として、労災疾病等に関する予防から診断、治療、リハビリテーション、職場復帰に至るまで一貫した高度・専門的医療の提供を行っています。また、長年にわたる職業病や作業関連疾患の臨床研究をもとに、勤労者医療の各分野について専門センターを併設しています。

《充実した医療機器による的確な診断と治療》

早期かつ適切な診断・治療を目指して、高度医療機器を駆使し、最高水準の医療を提供しています。また、この機能を活用して労働安全衛生法に基づく各種健康診断等も行い、職場における勤労者の健康確保を支援しています。

《救命・救急医療活動》

労働災害等の緊急治療に対応するための救命・救急医療は、医療の原点でもあり、労災病院においても積極的に取り組んでいます。併せて、災害時の医療体制の整備も進めています。



治療就労両立支援センター

治療就労両立支援センターでは「治療と仕事の両立支援」と「予防医療モデル事業」を行っています。

「治療と仕事の両立支援」とは、働く人が病気にかかったとき、仕事を辞めずに治療を受けられるようサポートをすることです。病気と診断されたとき、本人は仕事を続けたとしても「会社に迷惑がかかるから」と退職されるケースは少なくありません。治療就労両立支援センターでは患者さんが治療しながら仕事を受けられるよう、専門知識を持った「両立支援コーディネーター」が無料相談や支援を行っています。また、支援で得られた知見を生かして、両立支援への取り組み方についてのマニュアルを作成し、広く普及しています。

また、「予防医療モデル事業」では、生活習慣を改善して病気を未然に防ぐことを目的に、健康診断の結果に基づいて、専門スタッフが生活習慣や食生活の改善のための指導等を行っています。指導にて集積したデータは分析し、より効果的な予防法・指導法の開発を行っています。

*事務職は、センターの総務、会計等の他、両立支援の取組の周知・広報、予防医療のための各種指導・測定等の調整などを行っています。



両立支援コーディネーター
マニュアル
予防法・指導法の例

産業保健総合支援センター

働く人の心からだの健康をサポートするため、ホームページや情報誌作成等を通じ、広報啓発を行うほか、産業医学、労働衛生工学、メンタルヘルス、労働関係法令等の専門スタッフが産業保健に係る研修や相談に対応しています。また、メンタルヘルス対策に精通した専門スタッフが事業場に赴き、ストレスチェック制度の導入など職場のメンタルヘルス対策推進の支援も行います。

さらには、治療と仕事の両立に向けて、産業カウンセラー、社労士等の専門スタッフが事業場を訪問し、両立支援制度の導入、患者(労働者)と企業間の個別調整支援などを進めています。

*事務職は、センターの総務・経理・事業運営(事業計画作成、周知広報等)に係る事務を行います。



労働安全衛生総合研究所

職場での事故、病気の防止や減少に貢献する研究を実施しています。労働安全衛生総合研究所では、理学、工学、医学、健康科学等様々な観点から総合的・専門的な調査及び研究を行っています。

調査、研究の成果は、法令、国の指針やガイドラインの制定等に活用されています。

また、各事業場の安全衛生の確保に役立てるために積極的に情報提供、広報活動を進めています。

*事務職は、研究所の総務・経理等に係る事務を行います。



掘削工事における斜面崩壊の実大規模実験

高速道路耐久性向上工事、鉛中毒災害調査